2016 (H28)

右馬允だより

美しい お月様が 大鹿の大地を明るく照らしています。今日も一日暖かな春のような空気に包まれ庭の福寿草も 2輪3輪と次々に咲き始め 如月、冬ごもり などの雰囲気は全くありません 週末のお客様とお泊のお客様が時々あるくらいで 右馬允は まだまだうとうとしていますが 自然界は 目覚め始めたようです 今少しの自由を悔いの無いよう しっかり楽しみたいと思います。

★★★ 銀座 NAGANO イベント ご案内 ★★★

2月29日(月) 11:00 A.M より
「銀座長野」に於て 大鹿歌舞伎の紹介
「歌舞伎後者に会おう」
並びに「大鹿ジビエとワインが巡り愛」を開催
正介と允は鹿肉を調理し準備しているところです。今「パリ朝」にお手伝いに出かけている元ヨガ研修で東京在住の久美と合流して賑やかにふるまう予定です。お席はいっぱいのようです。

琵琶湖 周遊の旅

第5回は 2月12日(金) 13日(土) の二日 15k 15k 計30kmを歩き 木之本から長浜城まで進みました。年始ということもあり 木之本地蔵(木之本地蔵院)にお参りをして 飯島隊長の希望で 江戸時代の儒学者で朝鮮との外交に活躍した雨森芳洲なる人物の庵を見学。親切な説明に感謝して 渡岸寺観音堂へ。美しい十一面観音様に 8人のメンバーは何を思い、何を語ろうたのだろう 時の流れがしばし止ったひとときでした。えっちらおっちらに険わしい山登り。たったの 342M の高さなのに武将がいったり来たりするには大変なことだ。しかしこの大変さがなければ城はすぐに落ちてしまう。周囲を見張る訳だから眺めは素晴らしい!! 懐かしい竹生島が眼下だ。夕方5:00過ぎ宿着。足が棒のようだ。翌13日 小雨降る中 体を復活し湖北をひたすら歩く。湖西とは趣きが全く違い 広々とした田園が右側に拡がり 琵琶湖に浮かぶ コハクチョウ ヤカモ 空にはトンビ、サギ 生き物が目を楽しませてくれる。コハクチョウの北帰行の旅立ちを 3グループくらい見た。鳴き声を残し 白い空へ消えてゆくのは 印象深い光景でした。

★そのエー のお話は次号へ すみません。